

(様式第2号)

## 病院薬剤師卒後研修プログラム概要版

病院名 ホスピタル坂東

所在地 茨城県坂東市沓掛411



### 1 プログラムの名称

ホスピタル坂東 病院薬剤師卒後研修プログラム

### 2 プログラムの目的と特色

本プログラムは、精神科・内科・整形外科を主要診療科とするホスピタル坂東において、病院薬剤師としての基礎的な知識・技能・態度を習得し、多職種と協働しながら、患者一人ひとりに寄り添った医療を提供できる薬剤師を育成することを目的とする。

また、本プログラムの特色として、病院全体の薬剤業務に幅広く関与できる環境を活かして実践力を養うとともに、大学病院との連携により専門的な知識を深める機会を提供する。

### 3 研修プログラム責任者の設置

薬剤副主任(薬剤部内の最高責任者)が研修プログラムの責任者となる。

研修関連実務を統括し、研修プログラムの企画・立案及び実施管理、並びに研修者に対する助言、指導その他の援助を行う。

### 4 就労環境

(1)勤務病院の宿舎	なし
(2)薬剤師賠償保険	個人で加入
(3)学会、研究会等への参加	可(交通費等、一部支給あり)
(4)勤務病院で指導薬剤師が取得している専門・認定薬剤師の資格	日病薬病院薬学認定薬剤師 (0人 ※2028年度6月頃取得見込み)
(5)取得可能専門・認定薬剤師 ★勤務病院 *協力病院	★日病薬病院薬学認定薬剤師 ★精神科薬物療法認定薬剤師 ★*精神科専門薬剤師 (学会発表・論文投稿は協力病院によるサポートあり) ★感染制御認定薬剤師 ★*感染制御専門薬剤師 (学会発表・論文投稿は協力病院によるサポートあり) ★抗菌化学療法認定薬剤師 ★漢方薬・生薬認定薬剤師
(6)協力病院	筑波大学附属病院
(7)協力病院の宿舎	あり(月額自己負担1~3万円)
(8)協力病院での給与	研修の希望に応じて都度協議する

(様式第2号)

## 5 指導体制

プログラムが円滑に実施されるように、指導薬剤師が指導の上、研修者の研修到達度を評価する。なお、指導薬剤師は当院での勤務歴5年以上の者が担当する。

筑波大学附属病院での研修期間中は、各専門分野の薬剤師による指導と評価を受ける。

## 6 プログラムの計画

1年目	調剤、注射、医薬品管理、DI業務、病棟業務の基礎を習得する。
2年目	チーム医療に参加し、多職種との連携を通してより高度な知識を習得していく。 希望に応じて筑波大学附属病院での研修を経験する。
3～4年目	日病薬病院薬学認定薬剤師の資格を取得する。 専門領域を選択し、各認定・専門薬剤師の資格取得に必要な症例・実績を整え学会発表も経験する。
5～6年目	必要な症例や実績を蓄積し、認定薬剤師の資格を取得する。 希望に応じて筑波大学附属病院における専門的な研修や、症例・実績収集の機会を得ることができる。
7～9年目	学会発表や論文投稿を経験し、専門薬剤師の資格を取得する。 認定・専門薬剤師として培った知識を日々の業務に活かし、チーム医療に貢献しながら、治療の質および患者 QOL の向上を図る。